



IFFO RS(International Fishmeal and Fish oil Organization Responsible Supply) 認証は、魚粉や魚油の製造や貿易に関する国際的な非営利組織 (IFFO) が運営している。魚粉は、多くは飼料として利用され、魚油はサプリメントやマーガリンなどに利用されている。

魚粉や魚油は、それ自体が粉碎されたり、液体状にされたりすることから、見た目では区別することは難しい。そのため、安全でないものや、違法な材料が利用されるという報告が見られる。また違法もしくは、報告も規制もされていない (以下、IUU) 漁業材料として利用されることから、漁場の持続可能性に対する懸念もある。このような状況を鑑みて、IFFO は、魚粉と魚油のグローバルスタンダードと認証プログラムを 2010 年に開発した。具体的には、IFFO にある技術アドバイザー (標準開発) 委員会が、規格を開発している。委員会の構成は、IFFO メンバー、貿易業者、生産者、水産養殖標準作成組織、水産加工業者、小売、消費者、NGO など、サプライチェーンを含めた多様な利害関係者らからなっている。

■—認証について

認証を取得するためには、まず、IFFO のメンバーになること、IFFO の義務と権利を守ること、IFSA (International Feed Safety Alliance) の IFIS (International Feed Ingredients Standard) を満たしているもしくは同等であること、関係している魚粉や魚油の製造や販売のライセンスや許可を所持していることが挙げられる。

規格は、国際連合、国際連合食糧農業機関 (以下、FAO)、ISO など様々な規格や基準を引用しており、三つの柱からなっている。①責任ある調達、②責任ある透明性、③責任ある生産である。①については、IUU でない材料であることで、FAO の基準と原則に従ったも

のであること、②については、基準に適合した漁場までがトレーサブルであること、③については、安全な魚粉・魚油の生産であることである。これらを軸に細かい基準が作成されており、継続的に基準に対する記録をとっておかなければならない。

この認証プログラムは、ISO/IEC Guide 65 の要求事項に適合するように作成されている。認証申請者は、この規格を順守することを示し、ISO Guide 65 の認定を受け、独立した認証機関によって評価されなければならない。また認証取得後は、毎年のサーベイランスと 3 年ごとに再審査が行われる。

認証費用については、3 年ごとの審査では、1 万ユーロ、サーベイランスでは、1,500 ユーロとなっている。この他に、管理手数料として企業当たり 1 年ごとに 2,500 ユーロ、工場ごとに 250 ユーロが経費としてかかる。なお、副産物から製造する場合は、審査に 250 ユーロ、サーベイランスに 125 ユーロとなっている。

認証の手順としては、申請者は、IFFO に対して、使用材料や適合データなどを記入したアプリケーションフォームを提出し費用を支払う。IFFO によるレビューが行われ、その後申請書と文書が認証機関の手に渡り評価される。その評価レポートは、3 段階に分かれ、最も低いものであれば、その時点で不合格とされてしまう。他の評価であれば、認証機関から認定された監査人が現場での評価を行い、そのレポートを確認し、適合が確認できれば晴れて認証される。なお、不合格とされた場合、費用は戻ってこないが、認証のために、どこを改善すべきかを認証機関から示される。認証までの期間については、アプリケーションが届いてから、種類により、3 か月から 8 か月かかる。認証は、チリ、デンマーク、フランス、アイスランド、ノルウェー、ペルー、米国、南アフリカ、英国で行われており、認証された製品についての文書がウェブページからダウンロードできる。認証のシェアは 2010 年が 20%、2012 年には 40% と大きく成長している。

文責：一般財団法人日本規格協会